

## H. カズキ君 H14年7月生

### 平成17年5月訓練開始（当時2才7ヶ月）

母親が「声も出ない、全くおしゃべりできないので何とか改善したい」と言います。

- \* 自力で口を開けたり閉じたりできない。また手を添えて少し開けると下顎が左右に動いてしまう。

常に歯ぎしりをしている。

- \* 「発語」はゼロ。「あ」という声も出せない。

お人形さんのように静かに座っている。「H君、これから先生がやることを見てね！H君もできるようになるといいわね！」と話しかけるとジーンとこちらを見ている。

- \* 親御さんが早口なのでもっとゆっくり話をするよう心がけていただきたい、とお話しました。（ダウン症児は難聴傾向のお子さんが多くそのため早口では音を聞き取れませんのでご家族で気をつけていただきたいと皆さんにお話しています）
- \* 4項目の訓練指導。

### 平成17年8月（訓練3ヵ月後）

- \* 母親が「あー、あい、ンーちゃ、と言うよになりました」と話してくれました。

- \* 50音の文字を私が手を添え一音一音しっかり発音しながら書き始めると夢中で書き時折一緒に声も出すようになった。

### 平成18年2月（訓練9ヶ月後）

- \* 母親が「パパ、あったー、いいよ、いや、などはっきり言える言葉が増えました。また今まではおとなしくて行動も静かだったのが、急に自分の意思を打ち出すようになってきました」と話してくれました。

### 平成19年2月

- \* 父親が「息子の表現が豊かになり こっち、ちがう、はーい、イエイ！など3語分程度の答えはポンポンと返してくれるようになりました」と話してくれました。集中力は15分程度。
- \* 6項目の訓練指導。

### 平成19年6月

- \* 授業を始めて15分程すると決まってグズリ始め親に甘えてなかなか前に進まないのので、本日母子分離を図ってみました。お勉強中は親御さんに外へ出ていただきました。すると45分間集中してお勉強しました。この日を境にH君は大きく成長を始めました。また声も大きくなって50音もハッキリ言える文字が増えました。
- \* 保育園でH君担当の保育さんが、「園でも時間を見てぜひH君に言葉の訓練を行ってみたいので方法を指導してほしい」と当教室に来てくれました。次の日から早速園で取り組んでいただいたところ、二ヵ月後のH君は見違えるほど改善が図られました。50音も今までは20音程度の発音でしたが35音ハッキリ言えるようにな

り、「おしっこ」「こんにちは」「さようなら」「どーぞ」「えび」「つばめ」「ほたる」「めだか」「りんご」「かえる」「てんとうむし」などいっぱい言えるようになりました。

#### 平成20年2月

- \* 50音中「ふ」はまだ発音できないが49文字ハッキリと大きな声で言えるようになった。
- \* 自力で20回ほど口を開閉できるようになった。
- \* 授業中「先生 ひらがなを書きたい」と自分の意思をしっかりと表明するようになり、とても個性が豊かになってきました。
- ※ 小学校障害児学級や保育園での指導に於いて感じることは、子供たちは「学校や園はお勉強するところ、家はくつろぐところ」と認識しているように思います。事例集をお読みいただくとお分かりになると思いますが、自宅での訓練もさることながら公的教育機関で併せて訓練を行った場合、早期改善がみられています。

#### 平成21年1月

- \* 現在8項目のトレーニングを行っている。単語ではなく自分の意思をそのままお話できるようになった。
- \* 母親が・ 1日1日言葉が増えてきてとても楽しいです。
  - ・ 人の観察をするようになり、その人の真似をするようになりました、といえます。

#### 平成21年4月

- \* 今年1年生！  
「ことば」がかなりハッキリしてきて、コミュニケーションを図ることに殆ど問題は無くなった。
- \* 母親が・ トイレでトイレットペーパーが上手く引き出せない時は、「引っ張ってー」と言い、言葉が伝わらない時は、何とか分かってもらえるように工夫して伝えます。
  - ・ 学校からの連絡帳をカバンから出して、「見てー」と持ってきます。必ず言葉で伝えるので嬉しく思います。と話してくれました。
- \* 集中力は50分。